

オランダの電磁環境の健康影響に関する情報プラットフォーム

情報ノート「電磁過敏症」の概要

情報ノート「電磁過敏症」は以下の内容を含み、全 56 頁から成っています。

- 1 本プラットフォームの結論
 - 2 社会における電磁過敏症
 - 2.1 電磁過敏症とは?
 - 2.2 電磁過敏症に関連する団体
 - 2.3 社会的な議論
 - 3 科学の現状
 - 3.1 体調不良の訴えの原因となる可能性としての EMF
 - 3.2 体調不良の訴えに関連する心理的なプロセスおよび解釈
 - 3.3 体調不良の訴えの原因となる可能性としてのその他の環境要因やある種の病気
 - 3.4 電磁過敏症についての科学研究の継続
 - 3.5 科学の現状に関する結論
 - 4 体調不良の訴えの治療または緩和
 - 4.1 電磁界へのばく露低減
 - 4.2 認知行動療法
 - 4.3 体調不良の訴えの治療または緩和に関する結論
- 付録 1：市民の団体へのインタビュー
付録 2：アトリビューション（原因と思うこと）とノセボ効果
付録 3：学際的ガイドラインと認知行動療法

電磁過敏症に関する活動を行っている市民の団体にインタビューを行い、この問題が一般にどのように捉えられているか、どのような問題があるかを報告しているのが、一つの特色と思われれます（詳細は付録 1）。

本プラットフォームの結論としては、「電磁過敏症の人が体験している不定愁訴は実際にあるものであり、重症であるかも知れず、彼らの生活に悪い影響を与えているかも知れないが、このような不定愁訴の原因について、科学研究による説明は未だなされていない」、しかし、「電磁過敏症での不定愁訴のタイプ、不定愁訴が体験される発生源のタイプが非常に多様であるため、原因を探る研究が困難であり、今後の研究で、原因に関して短期的に明快な答えが提供されるとは思われない」と述べています。また、対処については、認知行動療法・電磁界以外の原因の調査などの選択もあり得るが、電磁過敏症の人々および医療関係者に誤解や無理解といった感情問題が生じないように慎重に手段を選ぶ必要があると述べています。

以 上

※ 公表された文書は、下記 URL で確認することができます。

<http://www.kennisplatform.nl/Files/2012-08-31KnowledgeNoteonElectrosensitivity.pdf>